(17) キャベツ

病害虫	防除法	参考事項
株腐病	<p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <p>1 下記薬剤のいずれかを散布する。</p> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <p>アフェットフロアブル カンタスドライフロアブル ジオゼット水和剤 パレード20フロアブル メジャーフロアブル モンカットフロアブル40 リゾレックス水和剤</p>	
菌核病	<p>(予防に関する措置)</p> <p>1 宿主植物の連作及び輪作を避ける。 2 密植を避け、風通しを良くし、過湿状態にならないようにする。 3 窒素過多を避ける。 4 田畑輪換や夏季の湛水処理により、菌核を死滅させる。 5 天地返し等で菌核を土中深くに埋め込む。</p> <p>(判断、防除に関する措置)</p> <p>1 発病株を早期に抜き取り、ほ場外で適切に処分する。 2 発生子察情報を参考に、前年の発生状況や本年の気象等から発生が多くなると予想される場合には、ほ場の見回り等による発病株の早期発見に努め、結球開始期から薬剤散布等を実施する。 3 地際部を重点的に、薬剤散布を実施する。 4 作物残さを適切に処分する。</p> <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <p>1 セル成形育苗トレイまたはペーパーポット苗の場合は、育苗期に下記薬剤をかん注する。</p> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <p>パレード20フロアブル</p> <p>2 結球開始期から10日おきに、下記薬剤のいずれかを株元にもよくかかるように散布する。</p> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <p>アフェットフロアブル オンリーワンフロアブル カンタスドライフロアブル スクレアフロアブル セイビアーフロアブル20 トップジンM水和剤 パレード20フロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 ベンレート水和剤 メジャーフロアブル ポリオキシシンAL水溶剤 ロブラール水和剤</p>	<p>○ メジャーフロアブルは幼苗期に葉害が出ることもあるので使用を避ける。</p>

病害虫	防除法	参考事項
根朽病	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 作物の地際部を傷つけないようにする。 2 発病株は抜き取り、ほ場外に埋め込む。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 トップジンM水和剤又はダコレート水和剤を散布する。 	<p>○ 苗に雨を当てないようにする。</p>
根こぶ病	<p>・共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項および根こぶ病菌によるあぶらな科野菜根こぶ病の防除の項を参照する。</p> <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <hr/> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> <p>オラクル粉剤</p> <hr/> <p>オラクル顆粒水和剤</p> <hr/> <p>ダコソイル</p> <hr/> <p>石灰窒素</p> <hr/> <p>ネビジンSC</p> <hr/> <p>ネビジン粉剤</p> <hr/> <p>ネビジン顆粒水和剤</p> <hr/> <p>ネビライト粉剤</p> <hr/> <p>ネビリュウ</p> <hr/> <p>フロンサイドSC</p> <hr/> <p>フロンサイド粉剤</p> <hr/> <p>ランマンフロアブル</p> <hr/>	<p>○ 多発するほ場では早植えしない(10月下旬以降にする)。</p>
べと病	<p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発病初期から7～10日おきに、下記薬剤のいずれかを2～3回散布する。 <hr/> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> <p>オロンディスウルトラSC</p> <hr/> <p>ダコニール1000</p> <hr/> <p>銅水和剤</p> <hr/> <p>ピシロックフロアブル</p> <hr/> <p>フェスティバル水和剤</p> <hr/> <p>ペンコゼブ水和剤</p> <hr/> <p>メジャーフロアブル</p> <hr/> <p>ランマンフロアブル</p> <hr/> <p>リドミルゴールドMZ</p> <hr/> <p>レーバスフロアブル</p> <hr/> <p>ザンプロDMフロアブル</p> <hr/>	<p>○ キャベツべと病に使用できる主な銅水和剤は次のものがある。ベニドー水和剤、Zボルドー、ドイツボルドーA。</p> <p>○ メジャーフロアブルは幼苗期に葉害が出ることがあるので使用を避ける。</p>

病害虫	防除法	参考事項											
<p>黒腐病</p>	<p>(予防に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自家採種の場合は、種子消毒を行う、又は消毒済の種子を購入する。 2 雨よけ施設で育苗する。 3 あぶらな科作物の連作を避ける。 4 地下水位の高いほ場や水はけの悪いほ場では、ほ場の排水を良好に保ち、過湿状態にならないようにする。 5 抵抗性品種を使用する。 6 窒素過多を避ける。 7 食害痕からの侵入を防ぐため、害虫の防除も徹底する。 8 中耕作業によって生じる傷口は病原菌の侵入口となることから、発生ほ場では中耕作業を控え、又は株際の中耕作業を避け、植物体をなるべく傷つけないよう留意する。 <p>(判断、防除に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発病株を早期に抜き取り、ほ場外で適切に処分する。 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による発病株の早期発見に努め、適期に薬剤散布等を実施する。 3 降雨が予想される場合、又は強風雨等で傷が付いた場合には、薬剤散布を実施する。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 微生物殺菌剤 <table border="1" data-bbox="363 884 742 958"> <tr><td>薬剤名</td></tr> <tr><td>マスタピース水和剤</td></tr> </table> 2 結球始めころから2週間間隔で3回程度下記薬剤のいずれかを展着剤を加えて散布する。 <table border="1" data-bbox="363 1059 742 1422"> <tr><td>薬剤名</td></tr> <tr><td>Zボルドー</td></tr> <tr><td>オキシンドー水和剤80</td></tr> <tr><td>カスミンボルドー/カッパーシン水和剤</td></tr> <tr><td>カセット水和剤</td></tr> <tr><td>キノンドーフロアブル</td></tr> <tr><td>ナレート水和剤</td></tr> <tr><td>バリダシン液剤5</td></tr> <tr><td>ヨネボン水和剤</td></tr> </table> 	薬剤名	マスタピース水和剤	薬剤名	Zボルドー	オキシンドー水和剤80	カスミンボルドー/カッパーシン水和剤	カセット水和剤	キノンドーフロアブル	ナレート水和剤	バリダシン液剤5	ヨネボン水和剤	<ul style="list-style-type: none"> ○ 葉先の水孔や傷口から侵入する。 ○ 晩秋雨の多いときに結球するような場合に多く出る。
薬剤名													
マスタピース水和剤													
薬剤名													
Zボルドー													
オキシンドー水和剤80													
カスミンボルドー/カッパーシン水和剤													
カセット水和剤													
キノンドーフロアブル													
ナレート水和剤													
バリダシン液剤5													
ヨネボン水和剤													

病害虫	防除法	参考事項								
軟腐病	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 3～4年間イネ科、まめ科の作物を作付ける。 2 降雨直後に農作業をしない。 3 発病株は見つけ次第取り除く。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 微生物殺菌剤 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">薬剤名</td> </tr> <tr> <td>マスタピース水和剤</td> </tr> </table> 2 発病が予想されるときは下記薬剤のいずれかを7～10日おきに散布する。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">薬剤名</td> </tr> <tr> <td>Zボルドー</td> </tr> <tr> <td>カスミンボルドー/カッパーシン水和剤</td> </tr> <tr> <td>コサイド3000</td> </tr> <tr> <td>スターナ水和剤</td> </tr> <tr> <td>ヨネボン水和剤</td> </tr> </table> 3 根や地際を害する害虫(キスジノミハムシ、ナメクジ、線虫など)を防除しておく。 	薬剤名	マスタピース水和剤	薬剤名	Zボルドー	カスミンボルドー/カッパーシン水和剤	コサイド3000	スターナ水和剤	ヨネボン水和剤	
薬剤名										
マスタピース水和剤										
薬剤名										
Zボルドー										
カスミンボルドー/カッパーシン水和剤										
コサイド3000										
スターナ水和剤										
ヨネボン水和剤										

病害虫	防除法	参考事項
<p>アオムシ</p>	<p>(予防に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 育苗床を防虫ネット等により被覆する。 2 ヘアリーベッチ、大麦等を使用したりビングマルチの活用により、密度抑制を図る。 3 ほ場周辺の雑草（特にあぶらな科雑草）の防除に努める。 <p>(判断、防除に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発生予察情報、ほ場の見回り等に基づき、若齢幼虫時に薬剤散布等を実施する。 2 作物残さを適切に処分する。 <p>(薬剤防除) 農業登録情報【アオムシ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生物的防除 ボタニガードESを散布する。 2 早めに防除剤を散布する。 <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> <p>オルトラン粒剤</p> <p>.....</p> <p>ジェイエース粒剤</p> <p>.....</p> <p>スタークル/アルバリン粒剤</p> <p>.....</p> <p>ダントツ粒剤</p> <p>.....</p> <p>モスピラン粒剤</p> <p>.....</p> <p>オルトラン水和剤</p> <p>.....</p> <p>ジェイエース水溶剤</p> <p>.....</p> <p>ダイアジノン乳剤40</p> <p>.....</p> <p>スカウトフロアブル</p> <p>.....</p> <p>トレボン乳剤</p> <p>.....</p> <p>マブリック水和剤20</p> <p>.....</p> <p>フェニックス顆粒水和剤</p> <p>.....</p> <p>プレバソンフロアブル5</p> <p>.....</p> <p>ヨーバルフロアブル</p> <p>.....</p> <p>ダントツ水溶剤</p> <p>.....</p> <p>モスピラン顆粒水溶剤</p> <p>.....</p> <p>パダンSG水溶剤</p> <p>.....</p> <p>スピノエース顆粒水和剤</p> <p>.....</p> <p>ディアナSC</p> <p>.....</p> <p>アニキ乳剤</p> <p>.....</p> <p>アフーム乳剤</p> <p>.....</p> <p>カスケード乳剤</p> <p>.....</p> <p>ファルコンフロアブル</p> <p>.....</p> <p>マッチ乳剤</p> <p>.....</p> <p>アクセルフロアブル</p> <p>.....</p> <p>コテツフロアブル</p> <p>.....</p> <p>トルネードエースDF</p> <p>.....</p> <p>ハチハチ乳剤</p> <p>.....</p> <p>ファインセーブフロアブル</p> <p>.....</p> <p>ブレオフロアブル</p> <p>.....</p> <p>プロフレアSC</p> <hr/>	

アブラムシ類

(予防に関する措置)

- 1 育苗床を防虫ネット等により被覆する。
- 2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。
- 3 有翅虫の飛来を防止するため、光反射資材によるマルチ若しくはシルバーテープ又は風上方向に防風垣若しくは防風ネットを設置する。

(判断、防除に関する措置)

- 1 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。
- 2 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 気門封鎖剤

薬剤名

エコピタ液剤
オレート液剤
サフオイル乳剤
サンクリスタル乳剤
粘着くん液剤
フーモン
ムシラップ

- 2 早めに防除剤を散布する。

薬剤名

備考

エルサン乳剤	
オルトラン水和剤	
ダイアジノン水和剤 3 4	
ダイアジノン乳剤 4 0	
オリオン水和剤 4 0	
テルスター水和剤	
トレボン乳剤	
マブリック水和剤 2 0	
バダンSG水溶剤	
アクタラ顆粒水溶剤	
アドマイヤー顆粒水和剤	
アドマイヤーフロアブル	
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	
ダントツ水溶剤	
モスピラン顆粒水溶剤	
ベリマークSC	
トランスフォームフロアブル	
ウララDF	
モベントフロアブル	マルハナバチ使用時注意
コルト顆粒水和剤	
ハチハチ乳剤	
オルトラン粒剤	
ジェイエース粒剤	
アクタラ粒剤 5	
アドマイヤー 1 粒剤	
スタークル/アルバリン粒剤	
ダントツ粒剤	

病害虫	防除法	参考事項																					
	モスビラン粒剤 セフィーナDC																						
オオタバコガ	<p>(予防に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 防虫ネット等の使用により、成虫の飛来及び産卵を防ぐ。 2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 <p>(判断、防除に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 2 結球野菜では、結球内部に食入した場合に防除が難しくなることから、結球前の防除を徹底する。 3 作物残さを適切に処分する。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 BT 剤 <table border="1" data-bbox="359 683 742 1115"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>エスマルクDF</td></tr> <tr><td>エコマスターBT</td></tr> <tr><td>クオークフロアブル</td></tr> <tr><td>サブリナフロアブル</td></tr> <tr><td>ジャックポット顆粒水和剤</td></tr> <tr><td>ゼンターリ顆粒水和剤</td></tr> <tr><td>チューンアップ顆粒水和剤</td></tr> <tr><td>デルフィン顆粒水和剤</td></tr> <tr><td>トアローフロアブルCT</td></tr> <tr><td>フローバックDF</td></tr> </tbody> </table> 2 早めに防除剤を散布する。 <table border="1" data-bbox="359 1182 742 1568"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>フェニックス顆粒水和剤</td></tr> <tr><td>ブレバゾンフロアブル5</td></tr> <tr><td>アニキ乳剤</td></tr> <tr><td>ディアナSC</td></tr> <tr><td>カスケード乳剤</td></tr> <tr><td>ファルコンフロアブル</td></tr> <tr><td>アクセルフロアブル</td></tr> <tr><td>コテツフロアブル</td></tr> <tr><td>ブレオフロアブル</td></tr> </tbody> </table> 	薬剤名	エスマルクDF	エコマスターBT	クオークフロアブル	サブリナフロアブル	ジャックポット顆粒水和剤	ゼンターリ顆粒水和剤	チューンアップ顆粒水和剤	デルフィン顆粒水和剤	トアローフロアブルCT	フローバックDF	薬剤名	フェニックス顆粒水和剤	ブレバゾンフロアブル5	アニキ乳剤	ディアナSC	カスケード乳剤	ファルコンフロアブル	アクセルフロアブル	コテツフロアブル	ブレオフロアブル	
薬剤名																							
エスマルクDF																							
エコマスターBT																							
クオークフロアブル																							
サブリナフロアブル																							
ジャックポット顆粒水和剤																							
ゼンターリ顆粒水和剤																							
チューンアップ顆粒水和剤																							
デルフィン顆粒水和剤																							
トアローフロアブルCT																							
フローバックDF																							
薬剤名																							
フェニックス顆粒水和剤																							
ブレバゾンフロアブル5																							
アニキ乳剤																							
ディアナSC																							
カスケード乳剤																							
ファルコンフロアブル																							
アクセルフロアブル																							
コテツフロアブル																							
ブレオフロアブル																							

コナガ

(予防に関する措置)

- 1 防虫ネット等の使用により、成虫の飛来及び産卵を防ぐ。
- 2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。
- 3 施設栽培では、成虫の侵入防止対策として、換気窓等の施設開口部への防虫ネットによる被覆を行う。
- 4 施設栽培においては、栽培終了後に蒸込み処理を行う。

(判断、防除に関する措置)

- 1 卵や若齢幼虫が寄生している葉を見つけ次第、除去する。
- 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。
- 3 結球野菜では、結球前の防除を徹底する。
- 4 作物残さを適切に処分する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 交信かく乱剤を使用する。

薬剤名

コナガコン

コナガコンープラス

コンフェューザーV

- 2 生物的防除

天敵微生物製剤ボタニガードESを散布する。

- 3 BT剤

薬剤名

エスマルクDF

エコマスターBT

クオークフロアブル

サブリーナフロアブル

ジャックポット顆粒水和剤

ゼンターリ顆粒水和剤

チューンアップ顆粒水和剤

デルフィン顆粒水和剤

トアローフロアブルCT

トアロー水和剤CT

フローバックDF

- 4 コナガは薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避け、数群でのローテーション散布を行う。なお、既に抵抗性の発達している薬剤も認められるが、その程度は地域により差があるため、実際の使用状況から推測して薬剤を選択する。

薬剤名

エビセクト水和剤

パダンSG水溶剤

スタークル/アルバリン顆粒水溶剤

ダントツ水溶剤

モスビラン顆粒水溶剤

アニキ乳剤

アフーム乳剤

スピノエース顆粒水和剤

ディアナSC

カウンター乳剤

カスケード乳剤

マッチ乳剤

病害虫	防除法	参考事項
<p>コナガ</p>	<p>アクセルフロアブル グレーシア乳剤 コテツフロアブル トルネードエースDF ハチハチ乳剤 プレオフロアブル プロフレアSC モベントフロアブル オルトラン粒剤 ジェイエース粒剤 スタークル/アルバリン粒剤 ダントツ粒剤 モスピラン粒剤</p>	
<p>ダイコンシンクイ(ハイマダラノメイガ)</p>	<p>(薬剤防除) 農薬登録情報 1 下記薬剤のいずれかを散布する。</p> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <p>スタークル/アルバリン粒剤 ダントツ粒剤 モスピラン粒剤 プリロツ粒剤オメガ プリンス粒剤 エルサン乳剤 スカウトフロアブル フェニックス顆粒水和剤 プレバソソフロアブル5 バダンSG水溶剤 スピノエース顆粒水和剤 ディアナSC アニキ乳剤 アファーム乳剤 カスケード乳剤 マッチ乳剤 マトリックフロアブル アクセルフロアブル コテツフロアブル トルネードエースDF ハチハチ乳剤 プレオフロアブル プロフレアSC</p>	

病害虫	防除法	参考事項
ネキリムシ類	<p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <p>1 下記薬剤のいずれかを散布する。</p> <p style="text-align: center;"><u>薬剤名</u></p> <hr/> <p>アクセルベイト</p> <hr/> <p>ガードベイトA</p> <hr/> <p>カルホス微粒剤F</p> <hr/> <p>カルモック</p> <hr/> <p>ダイアジノン粒剤5</p> <hr/> <p>デナボン5%ベイト</p> <hr/> <p>ネキリエースK</p> <hr/> <p>フォース粒剤</p> <hr/>	

ハスモンヨトウ

(予防に関する措置)

- 1 防虫ネット等の使用により、成虫の飛来及び産卵を防ぐ。
- 2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。

(判断、防除に関する措置)

- 1 卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。
- 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。
- 3 結球野菜では、結球内部に食入した場合に防除が難しくなることから、結球前の防除を徹底する。
- 4 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。
- 5 作物残さを適切に処分する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 BT 剤

薬剤名

エコマスターBT
クオークフロアブル
サブリーナフロアブル
ジャックポット顆粒水和剤
ゼンターリ顆粒水和剤
デルフィン顆粒水和剤
フローバックDF

- 2 若齢幼虫のうちに、薬剤を散布する。

薬剤名

エルサン乳剤
オルトラン水和剤
ジェイエース水溶剤
トクチオン乳剤
ランネット微粒剤F
ランネット45DF
マブリック水和剤20
フェニックス顆粒水和剤
ブレバソフフロアブル5
アニキ乳剤
アファーム乳剤
ディアナSC
アタブロン乳剤
カウンター乳剤
カスケード乳剤
ノーモルト乳剤
ファルコンフロアブル
マッチ乳剤
マトリックフロアブル
ロムダンフロアブル
アクセルフロアブル
グレーシア乳剤
コテツフロアブル
トルネードエースDF
ブレオフロアブル

病害虫	防除法	参考事項												
<p>ナメクジ、カタツムリ類</p>	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 野菜くずの捨て場等の発生源を除去する。 2 ほ場の通風や排水を良好にし、地表部を乾燥させる。 3 農作物の過繁茂を避け、収穫後の畑はできるだけ早期に整理する。 4 畑周辺の小かん木、小竹などの茂みを伐採整理し、不必要な石積等は取り除く。 5 畑周辺の清掃を図った上で、潜伏場所となるような濡れむしろ等を設置し、誘引捕殺する。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報【ナメクジ】・【カタツムリ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 粒剤は雨が降ると有効成分が流亡してしまうので、天候を見極めて活動直前の夕刻に処理する。ハウスや温室内では、2～3日間はかん水がかからないようにする。残効期間は短い。 <table border="1" data-bbox="359 611 1121 846"> <thead> <tr> <th data-bbox="359 611 821 649">薬剤名</th> <th data-bbox="821 611 1121 649">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="359 649 821 689">パダンSG水溶剤</td> <td data-bbox="821 649 1121 689"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 689 821 730">リーフガード顆粒水和剤</td> <td data-bbox="821 689 1121 730"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 730 821 770">スラゴ</td> <td data-bbox="821 730 1121 770">温室・ハウス・ほ場・花壇</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 770 821 810">マイキラー</td> <td data-bbox="821 770 1121 810">ほ場周辺雑草地の生息地</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 810 821 851">ナメクリーン3</td> <td data-bbox="821 810 1121 851"></td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	備考	パダンSG水溶剤		リーフガード顆粒水和剤		スラゴ	温室・ハウス・ほ場・花壇	マイキラー	ほ場周辺雑草地の生息地	ナメクリーン3		
薬剤名	備考													
パダンSG水溶剤														
リーフガード顆粒水和剤														
スラゴ	温室・ハウス・ほ場・花壇													
マイキラー	ほ場周辺雑草地の生息地													
ナメクリーン3														

病害虫	防除法	参考事項																						
<p>ヨトウムシ</p>	<p>(予防に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 防虫ネット等の使用により、成虫の飛来及び産卵を防ぐ。 2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 3 施設栽培では、成虫の侵入防止対策として、換気窓等の施設開口部への防虫 ネットによる被覆や防蛾(が)灯 (黄色灯) の夜間点灯を行う。 4 施設栽培においては、栽培終了後に蒸込み処理を行う。 <p>(判断、防除に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 3 結球野菜では、結球内部に食入した場合に防除が難しくなることから、結球前の防除を徹底する。 4 作物残さを適切に処分する。 <p>(薬剤防除) 農業登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 以下の薬剤を散布する。 <table border="1" data-bbox="359 745 742 1585"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>オルトラン粒剤</td></tr> <tr><td>ジェイエース粒剤</td></tr> <tr><td>オルトラン水和剤</td></tr> <tr><td>ジェイエース水溶剤</td></tr> <tr><td>スカウトフロアブル</td></tr> <tr><td>トレボン乳剤</td></tr> <tr><td>マブリック水和剤 20</td></tr> <tr><td>フェニックス顆粒水和剤</td></tr> <tr><td>ブレバゾンフロアブル 5</td></tr> <tr><td>ヨーバルフロアブル</td></tr> <tr><td>スピノエース顆粒水和剤</td></tr> <tr><td>ディアナSC</td></tr> <tr><td>アフーム乳剤</td></tr> <tr><td>カスケード乳剤</td></tr> <tr><td>ファルコンフロアブル</td></tr> <tr><td>マッチ乳剤</td></tr> <tr><td>アクセルフロアブル</td></tr> <tr><td>コテツフロアブル</td></tr> <tr><td>トルネードエースDF</td></tr> <tr><td>ブレオフロアブル</td></tr> <tr><td>プロフレアSC</td></tr> </tbody> </table>	薬剤名	オルトラン粒剤	ジェイエース粒剤	オルトラン水和剤	ジェイエース水溶剤	スカウトフロアブル	トレボン乳剤	マブリック水和剤 20	フェニックス顆粒水和剤	ブレバゾンフロアブル 5	ヨーバルフロアブル	スピノエース顆粒水和剤	ディアナSC	アフーム乳剤	カスケード乳剤	ファルコンフロアブル	マッチ乳剤	アクセルフロアブル	コテツフロアブル	トルネードエースDF	ブレオフロアブル	プロフレアSC	
薬剤名																								
オルトラン粒剤																								
ジェイエース粒剤																								
オルトラン水和剤																								
ジェイエース水溶剤																								
スカウトフロアブル																								
トレボン乳剤																								
マブリック水和剤 20																								
フェニックス顆粒水和剤																								
ブレバゾンフロアブル 5																								
ヨーバルフロアブル																								
スピノエース顆粒水和剤																								
ディアナSC																								
アフーム乳剤																								
カスケード乳剤																								
ファルコンフロアブル																								
マッチ乳剤																								
アクセルフロアブル																								
コテツフロアブル																								
トルネードエースDF																								
ブレオフロアブル																								
プロフレアSC																								